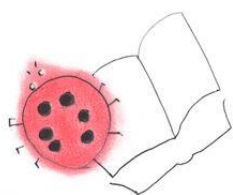


報道関係者 各位 プレスリリース



2013年10月15日
日本点字図書館

東京都新宿区高田馬場 1-23-4 〒169-8586
総務部広報担当 和田・新郷
電話 03-3209-0241 FAX 03-3204-5641
E-mail nitten@nittento.or.jp

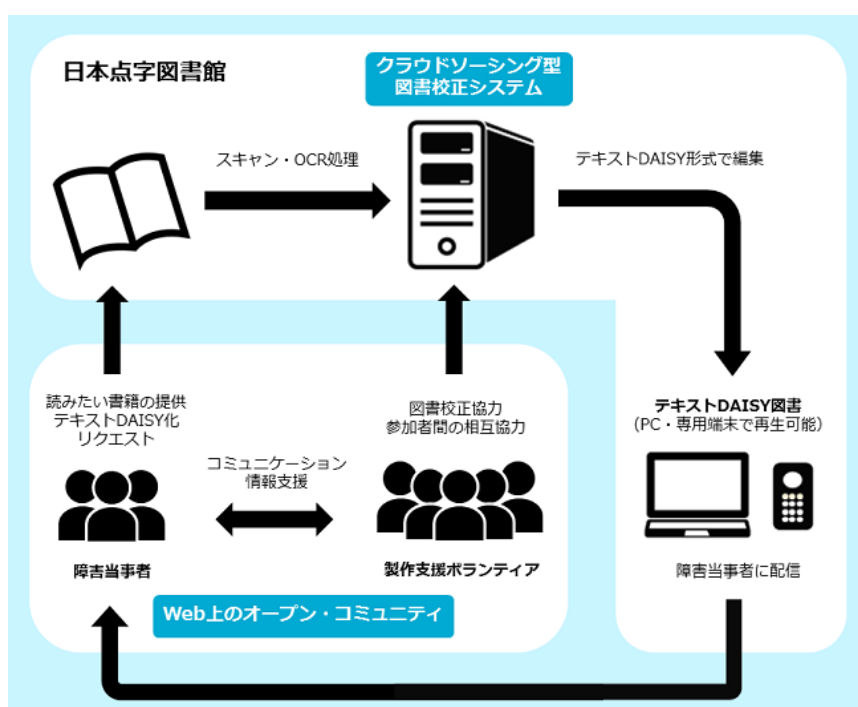
日本点字図書館、日本 IBM・東京大学らの協力で クラウドソーシングとオープン・コミュニティを活用した 「アクセシブルな電子書籍製作実験プロジェクト」を実施

社会福祉法人日本点字図書館(本部:東京都新宿区、理事長:田中徹二、以下:日本点字図書館)は、視覚障害者等読むことに障害のある人々の読書環境向上のため、クラウドソーシング※1 と Web 上のオープン・コミュニティを活用したアクセシブルな電子書籍(DAISY形式※2)の製作実験プロジェクトを開始します。日本の点字図書館では初の試みです。

本プロジェクトは、日本アイ・ビー・エム株式会社(以下:日本 IBM)、東京大学大学院情報理工学系研究科廣瀬・谷川研究室(以下:東京大学)、メディアドライブ株式会社(以下:メディアドライブ)の協力のもと、2013年10月15日より2014年3月31日まで実施されます。

これに伴い、プロジェクトに参加する製作支援ボランティアおよび、製作リクエストとコンテンツの試用を行う障害当事者を募集します。

プロジェクト概要図



背景

近年、点字図書館等いくつかの視覚障害者情報提供施設・団体では、点字図書や音声図書に加えて、デジタルテキストからなる「テキスト DAISY」と呼ばれる形式の電子書籍（以下：テキスト DAISY 図書）の製作・提供に取り組んでいます。※3 これは、見出しやページ単位で移動できる等のアクセシビリティ機能を持ち、利用者は専用の再生端末や PC のソフトウェアを用いて、音声合成機能で読み上げさせる、文字を拡大させる等、障害の種類や程度に応じて複数の方法で読むことができます。製作に点訳や朗読といった専門技能を要しない分、多くの場合数か月の製作期間を要する点字・音声図書より迅速な提供が期待できます。

日本点字図書館では、こうしたアクセシブルな電子書籍を、視覚障害者等読むことに障害のある人々の読書ニーズに迅速に応え得るメディアとして捉え、その利用を推進していきたいと考えています。

クラウドソーシングの活用—製作の迅速化・効率化

点字図書館等では多くの場合、テキスト DAISY 図書のもととなるデジタルテキストを、紙の書籍のスキャン画像から OCR ソフトで変換し製作しています。この過程で発生する文字等の誤認識を、これまで特定のスタッフが紙の書籍と照合しながら修正していたため、製作の効率化には限界がありました。

本プロジェクトでは、OCR 処理したデジタルテキストの校正作業にクラウドソーシングを導入し、不特定多数の参加者から協力を得ることによって、テキスト DAISY 図書製作の迅速化・効率化を目指します。

オープン・コミュニティの活用—アクセシブルな電子書籍の利用促進と製作活動の活性化

本プロジェクトでは、参加者の活動基盤として Web 上のオープン・コミュニティを活用します。これは、独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) による戦略的イノベーション創出推進プログラム (S-イノベ) の 1 課題である、『高齢者の経験・知識・技能を社会の推進力とするための ICT 基盤「高齢者クラウド」の研究開発』プロジェクト※4 の一環として、IBM 東京基礎研究所が開発し、東京大学が提供するコミュニティ・サイトと連携しています。

ここで障害当事者は、読みたい書籍のテキスト DAISY 化リクエストができ、読みたい書籍が特定できない場合は、他の参加者から情報支援を受けることができます。また製作支援ボランティアは、活動に関する質問や情報交換等ができます。

このように、Web 上で気軽にリクエストや参加者間のコミュニケーションができる仕組みを用意することで、テキスト DAISY 図書利用の促進と、製作活動の活性化を図ります。

製作から提供までの流れ

1. 障害当事者が、コミュニティ・サイトで読みたい書籍のテキスト DAISY 化リクエストを行い、原本を日本点字図書館に提供する。(リクエストされた書籍以外にも、日本点字図書館内でテキスト DAISY 化のための選書を並行して行う。)
2. 日本点字図書館が、原本を裁断・スキャン・OCR 処理する。
3. 製作支援ボランティアが、クラウドソーシング型図書校正システムで OCR の誤認識を修正する。

4. 誤認識が修正されたデータを、日本点字図書館がテキスト DAISY 形式で簡易に編集する。
5. リクエスト者、あるいはリクエスト者を含むコミュニティの障害当事者は、簡易編集されたテキスト DAISY 図書の完成情報をコミュニティ・サイトから取得し、適宜配信システムからデータをダウンロードする。
6. データを試用した障害当事者から要望があれば、日本点字図書館は入念な編集と校正を行い、再度提供を行う。

製作・配信は、著作権法第 37 条第 3 項に基づき日本点字図書館が主体となって行います。なお、本プロジェクトは以下の協力を得て実施されます。

- 日本 IBM : クラウドソーシング型図書校正システム一式の無償貸与
- 東京大学 : コミュニティ・サイトの提供
- メディアドライブ : OCR ソフト「WinReader Pro」のライセンス無償貸与

参加者募集

本プロジェクトに協力していただける以下の 2 種類の参加者を募集します。参加ご希望の方は、それぞれの専用ページ(下記参照)で参加要件・規約等をご確認のうえ、申し込みを行ってください。(応募者多数の場合は、適宜募集を締め切らせていただきます。)

1. 製作支援ボランティア

【協力内容】

- クラウドソーシング型図書校正システムでの図書校正・修正作業
- コミュニティ・サイトでのテキスト DAISY 化リクエスト支援

【参加申し込みページ】

<https://ebis.nittento.or.jp/register/volunteer>

2. 障害当事者

【協力内容】

- コミュニティ・サイトでのテキスト DAISY 化リクエスト・原本提供
- 本プロジェクトで製作したテキスト DAISY 図書の試用・評価

【参加申し込みページ】

<https://ebis.nittento.or.jp/register/user>

※1 インターネットを通じて不特定多数の人に作業や業務を委託するアウトソーシング形態。ただし本プロジェクトの参加者は原則としてボランティアで、報酬の支払いや雇用関係は伴わない。

※2 DAISY=Digital Accessible Information System DAISY コンソーシアム(本部:スイス)によって開発と維持が行われているアクセシブルな情報システム。はじめ視覚障害者のためのデジタル録音図書の国際標準規格として開発され、近年では学習障害等により印刷物を読むのが困難な人々にとってもアクセシブルなデジタルコンテンツのフォーマットとしても認められてきている。

※3 著作権法第 37 条第 3 項の規定に基づき製作・提供を行っている。

※4 経験や知識において優れる高齢者の労働資源を社会に還元するため、クラウドコンピューティングを活用して複数人の高齢者と若年者それぞれの得意分野を組み合わせることによって、仮想的に高度な労働力を構成する「Mosaic 型就労モデル」を提案している。

<http://sc.cyber.t.u-tokyo.ac.jp/>

日本点字図書館について

1940 年創設。点字図書・音声図書の製作・貸し出し、中途視覚障害者のための点字教室、視覚障害者のためのパソコン教室、視覚障害者用具の販売等の事業を行う。視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の管理も行っている。

ホームページ : <http://www.nittento.or.jp/>